

令和 8 年度 第 3 回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

【日 時】

令和 8 年 8 月 3 1 日（月） 1 0 時 3 0 分～ 1 2 時 0 0 分

【場 所】

市役所東別館 9 階 特別中会議室

【出席委員】

井上会長、岡積委員、川崎委員、塩満委員、下園委員、寺元委員、
富元委員、平委員、三原委員、山崎委員、吉村委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 審議事項
第四次一般廃棄物処理基本計画の改訂素案について
 - (2) その他
- 4 閉会

【議事概要】

第四次一般廃棄物処理基本計画の改訂素案について

委 員：市民 1 人 1 日当たりごみ・資源物排出量も非常にいい結果が出ているので、目標値の 838 g をもっと良い方向に目標値を定め、今の傾向を続けていって欲しい。1 人 1 日当たりの家庭のごみ量についても、448 g ということで令和 13 年度の目標値に近い数字になっている。
ごみ・資源物排出量、家庭ごみ量について、もっと目標値を高く、例えばごみ・資源物排出量は 800 g、家庭ごみ量は 400 g とかでもよいのではないか。

事務局：令和 13 年度の目標 437 g に対し、現況であと約 10 g であるが、現在、落ちが鈍化している状況で、上方修正は難しいと感じている。
ごみ・資源物排出量も同様であり、この 2 つの目標についても、据え置きとした。

会 長：広報活動等して、なるべく家庭ごみの排出量を減らしていくよう、いろんな改善は加えていっていただきたい。

委 員：プラスチック製品を回収する方針が書いてあるが、一括で回収するのか。例えばおもちゃのプラスチックとか、プラスチックのハンガーとか、そういうものも含めて回収するということか。

事務局：現在、回収しているプラスチック容器類に加えて、新たにプラスチック製

品も回収するという方向で検討しているが、回収方法はまだ決まっていないところである。

委員：ごみ減量に繋がる良いアイデアを出しても、市民に正確に伝えることは難しいと感じている。

今回の見直しでは分別の変更点も出てくるということで、どのように周知するかということを含めて考えていかないと、せっかくアイデアを出しても良い方向にはいかないと感じる。

委員：資源化したものがどのようなものになって、どのようなメリットがあり、資源化に費用はかかるけれども、その資源化したものでもっと市民にメリットがある、資源化を進め、皆さんが努力したらこんないいことがあるんだという、メリット面をアピールするようなことも今後の推進のための 1 つではないかと考える。